

家畜ふん尿からの温室効果ガス（GHG）排出量の削減にチャレンジ！

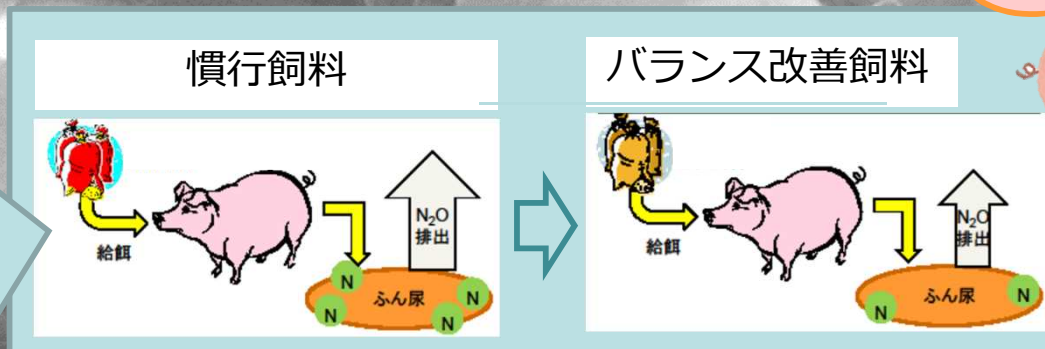
- ・ふん尿処理施設からのGHG排出量を測定するシステムを開発。COP21合意の削減達成に向けた新規算定法ガイドラインの策定に貢献。
- ・GHGのもとになる窒素成分を少なくしたアミノ酸バランス改善飼料の効果を解明。肥育豚ではオフセットクレジットを獲得。
- ・堆肥製造における初発水分調整及び亜硝酸酸化細菌添加によるGHG削減法を開発。農地への炭素ストック増大が期待。
- ・汚水浄化過程のGHG排出量を飛躍的に削減する炭素繊維担体リアクタを開発。

家畜ふん尿から
温室効果ガス
年間約700万トン
(CO₂等量)

バランス
改善飼料
にチェンジ

処理方法を
GHG抑制型
にチェンジ

ガス測定
機器開発

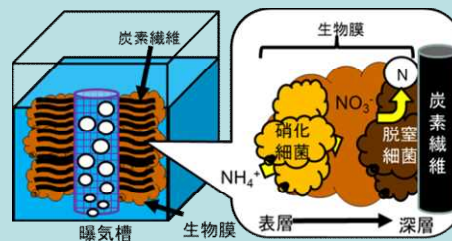


肥育豚で
約30万トン
採卵鶏で7万トン
の削減が可能

!!

家畜ふん尿から
温室効果ガス
約140万トン
の削減が可能

炭素繊維浄化等の新技術導入



三元豚の通常肥育
条件で比較して
肥育効率も
肉質にも影響なし



尿浄化効率向上で
経済性にも貢献

☎ 詳しい情報を知りたい、という方はお気軽にご連絡ください。

(国研)農研機構 畜産研究部門 企画管理部 企画連携室広報プランナー

TEL: 029-838-8292(直) FAX: 029-838-8606(代表) URL: <https://www.naro.affrc.go.jp/inquiry/tech.html>